

素敵なネクタイ特集

英和結びに挑戦！



高田先生が素敵なイラストを描いてくださいました

失敗例



【制服の歴史】

東洋英和の制服は 1927（昭和 2）年、校長の F.G. ハミルトン先生を中心とした委員会において、カナダの水兵服をもとに考案されました。襟のマリーゴールドとネクタイのガーネットは、先生の母校であるカナダのマウントアリソン大学のスクールカラーから採用されたと言われています。

東洋英和の制服は 100 年近くも変わらずに受け継がれてきています。今回はみなさんにもっと素敵な英和生になって頂きたく、ネクタイに焦点を当てて、ご卒業生でもある東先生のお話をご紹介します。

綺麗なネクタイの結び方

首もとがしまり過ぎたり、開き過ぎたりしないように、心持ちふんわりと結んで両方の長さを揃えてください。小さい学年の方は自然に結んでいただければと思います。「英和結び」は小学部のネクタイは中高部のものと比べると小さいので、結びにくいと思います。大きい学年の方は綺麗にひだを作って結んでいる人もいます。次頁イラストと写真を参考にしてください。

東先生よりみなさんへ



当時の校長でいらしたハミルトン先生が制服をお決めになったときから、時代を重ねて多くの先輩方が身につけてきた東洋英和女学院小学部の制服です。ゴールドのライン、ガーネットのネクタイ、真っ白い夏服は東洋英和女学院ならではのものです。誇りをもって身にまとうていただきたいと思います。